

日本のうたごえ祭典 I Nみやぎ 参加！ (11月22~24日)
東日本大震災復興！ふるさとを忘れまい！ 連絡先 03-3200-0106 全国協まで

東日本郷土講習会(詳しくは次報にて)

魅力がいっぱい！ 講習演目 ぜひ参加を！

日時 6月7日(土)午後1時~8日(日)午後4時まで

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター

東京都渋谷区代々木神国町3-1 (小田急線参宮橋駅下車7分)

(1) 仙台すずめ踊り祭連(ますら) 定員40人

講師 六郷すずめっこ 組頭 阿部 文氏(他7名)

コース内容 すずめおどり(せんす2本)・篠笛(7本調子)・(桶胴)、締太鼓・証

「はねっこ踊り」とも呼ばれるすずめ踊り、慶長八年(1603)、仙台城移徙式(新築移転の儀式)の後の宴席で、泉州・堺(現在の大阪府きょうと堺市)出身の石工(いしく、石垣造りの職人)さんが、藩祖伊達政宗公の御前で、即興で披露した踊りがはじまりと言われています。踊る姿が餅をついばむ雀に似ており、伊達家の家紋も「竹に雀」であることから「すずめ踊り」と呼ばれました。仙台発祥の郷土芸能である、すずめ踊りは工の子孫によって伝承されてきましたが、近年では市民の間にも広がり多くのグループ(祭連=ますら)が創られるようになりました。「六郷すずめっこ」は2002年に六郷中学校区内住民を対象として発足、翌年には仙台・祭りに参加しました。仮設住宅住まいの家族もあり、練習場所も使えなくなりましたが、地元の人たちにも勇気づけるためにも「演舞することが大事」と避難所で踊ることを決めました。〔震災復興地域かわら版より〕

(2) 七夕まつり囃子(岩手県陸前高田) 定員30名

講師 川崎太鼓仲間「響」 代表 玉田菅雄氏

街が津波で流され何もなくなった瓦礫の間を、泣きながら曳いた七夕まつりの山車。仲間をなくし、自らも被災した中で、「氷上(ひかみ)太鼓」のみなさんは49日を過ぎてから避難所を回った。「祭りがなければ前へは進めなかった」「七夕まつり囃子は陸前高田の人の心の支え」であった。被災した年から「氷上(ひかみ)太鼓」のみなさんと交流を続けながら指導を受け学んだ、川崎太鼓仲間「響」より学びます。

(3) 南京玉すだれ 定員10人

講師 鈴木勝雄氏(調布拍江合唱団団長)

昨年好評だった、南京玉すだれ、今年も「お願い」の声、南京玉すだれ1つあればあなたはエンターテナーです。名人芸の域に達した「跳鼓舞」の鈴木勝雄さんから直接ご指導頂きます。

全国のうたごえの皆さん！是非参加お待ちしております！